

日勝峠復旧費227億円

3次補正予算 狩勝峠に56億円



堤防の復旧工事が始まった帯広市中島町の札内川を見学する関係者（1日午前11時20分ごろ）

国の今年度第3次補正予算が1月31日に成立し、十勝管内分では昨年8月の台風被害の復旧費などが盛り込まれた。基大な被害を受けて通行止め中の国道274号日勝峠は227億円、同38号狩勝峠には56億円が復旧工事に計上された。1日には帯広市などで、堤防が決壊した河川の復旧工事も本格的に始まった。

河川は工事本格着手

国道274号は、清水町側で大規模に崩落した7、800目や、日高管内の千呂露橋などの復旧に総額227億円。同38号も狩勝峠や清水町内で橋の復旧などで56億円が予算措置された。一連の台風被害の復旧では、落橋した国道38号小林橋の仮橋設置など一部で緊急対策の工事が行われた。今回の3次補正予算では、それらを含めた全体の復旧費が計上された。

国道274号は昨年8月30日の台風10号で大きな被害を受け、清水町清水―日高町千栄間（39・5キロ）が現在も通行止め。道開発局は今秋ごろの通行再開を目指しており、「予算が成立したので発注の手続きを進め、雪解け後すぐに着手できるようにしたい」としている。

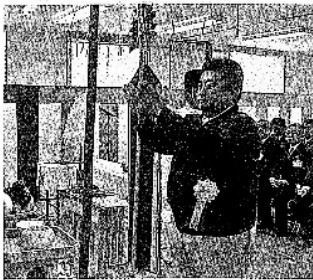
大雨による増水で堤防が決壊した帯広市内と中札内村内の札内川、土幌町内の音更川では、国の「北海道緊急治水対策プロジェクト」による本復旧工事が始まった。1日午前帯広市内

の幸福農業センターで合同の工事安全祈願祭が執り行われ、同市中島町の現場で見学会が開かれた。

河川を中心に集中的に治水対策を行う事業で、今回の堤防復旧3カ所では計約11億円が予算措置された。3月下旬まで工事を行う。同市の工事を受注した官坂建設工業の官坂寿文社長は「地域の期待は大きい。増水時にも強い堤防を作って対応したい」と話していた。（安田義教）

堤防復旧着工で安全祈願祭
技術力結集し早期復旧

宮坂建設、村上土建、斉藤井出の3社



安全祈願祭で
玉串奉てんを
行う宮坂社長

【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂社長）や村上土建建設工業（宮坂、村上社長）、斉藤井出建設（帯広、斉藤社長）は、帯広市内の幸福農業センターで札内川・音更川の堤防復旧工事の本格的着工に先立ち、安全祈願祭を開催した。関係者約三千人が出席し、被災地の一刻も早い復旧と無事故、無災害での完成を祈願した。

同日、安全祈願祭を開催した。この日、宮坂社長、村上社長、斉藤社長ら三社の役員、職員のほか、帯広開建の河畑俊明部長、藤田隆保、帯広河川事務所所長ら関係者約三十人が出席した。安全祈願祭終了後には、帯広開建が「札内川左岸大正橋下流地先復旧」（宮坂建設工業）で現場見学会を開き、帯広河川事務所の渡辺雅俊工務課長が被害状況や工事の概要を説明していた。



現場見学会では帯広河川事務所の職員が工事概要などを説明した

建設内では札内川・音更川の計三カ所で堤防が決壊するなど甚大な被害となった。その後、ハード・ソフト一体となった緊急治水対策「道緊急治水対策プロジェクト」が認められ、開建が堤防復旧などに着手することとなった。

今回、「札内川左岸大正橋下流地先復旧」を施工する宮坂建設工業、「音更川左岸中上流地先復旧」の村上土建建設工業、「札内川左岸上札内橋下流地先復旧」の斉藤井出建設が合同で安全祈願祭を開催した。

現場見学会では、帯広開建が「札内川左岸大正橋下流地先復旧」（宮坂建設工業）で現場見学会を開き、帯広河川事務所の渡辺雅俊工務課長が被害状況や工事の概要を説明していた。

現場見学会では、帯広開建が「札内川左岸大正橋下流地先復旧」（宮坂建設工業）で現場見学会を開き、帯広河川事務所の渡辺雅俊工務課長が被害状況や工事の概要を説明していた。

現場見学会では、帯広開建が「札内川左岸大正橋下流地先復旧」（宮坂建設工業）で現場見学会を開き、帯広河川事務所の渡辺雅俊工務課長が被害状況や工事の概要を説明していた。

堤防早期復旧に期待

帯広開建 札内川の現場公開



災害の再発を防ぐ取り組みを説明した

【帯広】帯広開建は1日、札内川左岸大正橋下流地先災害復旧の現場を公開した。工事は、昨年8月の台風による札内川の増水で堤防が決壊した箇所の本復旧に取り組みのもの。参加した地元自治体の関係者約30人は、

一日でも早く農地など地元の貴重な財産を守る堤防を強固にするため、早期復旧に期待を寄せた。十勝川水系では札内川で2カ所が被災。1カ所は、戸島別川合流点付近にある大正橋下流の左岸で延長200メートルにわたって堤防が決壊し、50人が浸水。家屋や倉庫、民間発電事業者のソーラー発電施設が被災したほか、農地の表土が流出した。もう1カ所は中札内村にある上札内橋下流1キロの左岸で、堤防が200メートルにわたって崩れた。音更川では、土幌町内にある音和橋上流の左岸で延長200メートルにわたって堤防が流失した。

この3カ所は地元の業者らが緊急復旧を施しているが、2月から北海道緊急治水対策プロジェクトに基づき本復旧に取り組み、3月末完了を目指す。工事は、宮坂建設工業が札内川左岸大正橋下流地先、斉藤井出建設が札内川左岸上札内橋下流地先、村上土建建設工業が音更川左岸中上流地先をそれぞれ受注。3社は見学会に先立ち、帯広市の幸福農業センターで安全祈願祭を開き、関係者が玉串をささげ無事故無災害を祈念した。施工者を代表して宮坂建設工業の宮坂寿文社長が「各社の技術の粋を集めて地域の安全を守るためにいっしょの力を納めたい」と決意を述べた。

札内川左岸大正橋下流地先の見学会では、帯広開建の担当者が元の位置に築堤を原形復旧するほか、川表側に護岸ブロックを設置することで再度の決壊を防ぐ考えを説明した。